

阪急沿線 31 駅目 ちよい駅 散歩

31 駅目

おおやまざき
大山崎
ŌYAMAZAKI

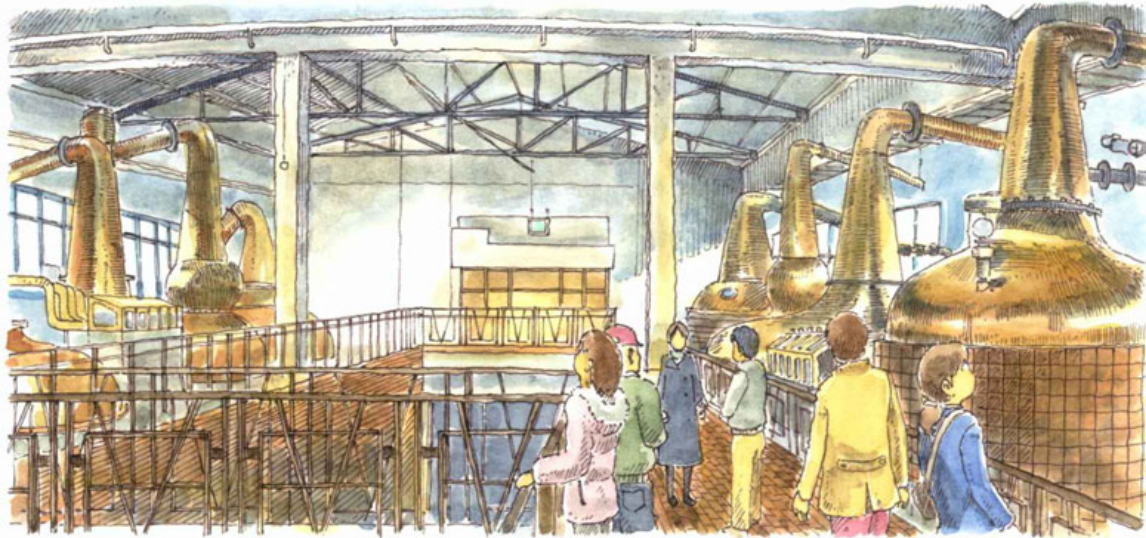
◀ みなせ MINASE ながおかてんじん NAGAOKA-TENJIN ▶

山崎の合戦で名高い天王山の麓。千利休が羽柴秀吉のために茶を点てたほどの名水の里として知られ、合流する木津川・宇治川・桂川の水温の違いから霧がわく。独特な地形と湿潤な気候はウイスキーづくりの理想郷。風雅な香りを胸いっぱい吸い込んで歩こう。



大山崎駅 | 所在地/乙訓郡大山崎町 設置/1928年11月1日

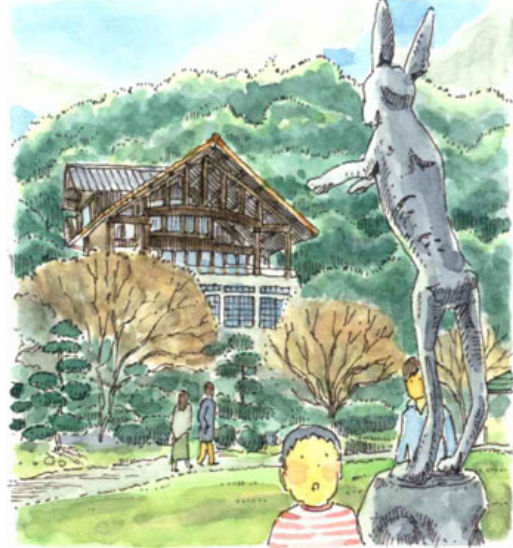
洋酒と文化の香りが漂う霧の山麓へ



サントリー山崎蒸溜所 数多の名酒を生み出したウイスキーの故郷

サントリーの創業者である鳥井信治郎が山崎蒸溜所の建設に着手したのは1923年のこと。以来、天王山の麓の豊かな自然環境のもと、日本のウイスキーづくりの歴史は始まった。蒸溜所は一般公開され、予約すればガイド付きのツアーに参加可能。所内には大きさや形が全て異なる巨大蒸溜釜が12基も！ その違いが世界でも類まれな多彩な個性のモルト原酒を生み出している。甘〜い香りに包まれたら、最後はウイスキーのいろんな飲み方にチャレンジし、湿いた喉を潤そう。

●10:00~16:45 (入館は~16:00) / 無休 / ☎075・962・1423
◎「ウイスキー蒸溜所ガイドツアー」10:00~15:00 (3月5日からの土・日曜・祝日は~12:00、所要時間約60分) / 無料 ※前日までに要予約。最少催行人数2名。



水と油が混じりあう!? ユニークな神社を参詣

駅前の西国街道を南西へ向かうと、司馬遼太郎の『国盗り物語』で有名な離宮八幡宮に到着。平安時代に同宮の神宮が油搾りの道具を発明したことから、その後製油・販売の拠点に。境内には油祖像が建ち、神前には全国の製油メーカーから奉納された製油缶が並ぶ。名水の里で、かつて油座として栄えた大山崎の歴史を垣間見られる貴重な場所だ。

【離宮八幡宮】
●6:00~17:00 / ☎075・956・0218



hermit green cafe ハーミットグリーンカフェ 疾走するマルーンの姿を眺めながら一休み

大皿に盛り付けられたケーキは、アイスやフルーツ、数種類のソースでデコレーションが施され、まさに芸術作品！ ふわふわのメレンゲをパーナーであった「バブルタルト」580円は、アーモンドとレモンの二層のクリームが爽やかな口当たり。阪急大山崎駅に隣接し、2階からはトレインビューの眺望も楽しめる。

●11:00~24:00 (L023:30) / 不定休 (2月28日は休、3月は無休) / ☎075・468・8737



アサヒビール 大山崎山荘美術館 山荘の造形美と展望が見事!

実業家・加賀正太郎が設計した山荘を受け継いだ美術館。天王山山頂へ向かうハイキングコースの途中にあり、モネの『睡蓮』の連作が展示されることで有名だ。本館2階喫茶室のテラスでは、木津川・宇治川・桂川の流れを見下ろしながら一息つける。また、約5,500坪の敷地を有する庭園の内周には桜が配され、これからの季節はレジャーシートを広げるのも良い。構想から完成まで約20年の歳月を費やしたこの山荘。その造形美と共に芸術鑑賞を心ゆくまで楽しんで。

●一般700円、大高生500円、中学生以下無料 / 10:00~17:00 (入館は~16:30) / 月曜休(祝日の場合は開館、翌日休) / ☎075・957・3123 (総合案内)

